

横須賀市立市民活動サポートセンター
2022年度 事業方針計画（案）

2022年2月17日 運営懇話会資料

◆方針

2022年度は新たに5期目の指定管理を担うこととなる。これまでの4期21年の経験を基に、横須賀地域で市民活動に励む人びとに生き生きと活動できる拠点を提供できるよう、新たな気持ちで臨みたい。

新型コロナウイルスの影響はまだ続くと思われるので、新しい生活様式にのっとった施設運営を引き続き行い、安心安全に施設を利用していただけるようにする。また、市民活動のオンライン化、コロナ禍により引き起こされた新たな課題などにきちんと向き合い、市民活動団体に必要な支援をすることで、市民活動の活性化に取り組む。

◆計画

1. 施設管理業務

1) 安心安全の環境を整える。

①新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策を実施する。

- ・手指消毒、マスク着用の徹底
- ・検温の実施
- ・施設消毒（使用后、定期）
- ・館内換気
- ・利用人数制限

②館内の整理整頓に努め、快適な利用環境を整える。

③定期的に防災訓練を実施し、スタッフの安全意識を高める。

④連絡先記入票などの個人情報保護を徹底する。

2) ホスピタリティのある接客をする。

①ロビーワークを大切にし、利用者とのコミュニケーションを図る。

②スタッフ研修を定期的に実施する。

③市民の意見を反映する。（利用者の声の活用）

2. 情報収集、提供、啓発

①情報誌のたろん（年4回）、のたろん通信（毎月）の発行（各3,000部）

②夏のボランティア・市民活動体験イベント情報冊子の発行（7月）（1,200部）

③ボランティア情報冊子の発行（6月）（1,200部）

④生涯現役フォーラム ひくてあまた月間冊子の発行（10月）（1,200部）

⑤FMブルー湘南 のたろん通信放送、「遊びに来ませんか」出演団体あっせん

⑥のたろんメール配信

⑦活動紹介コーナー（センターエリア、フロントエリア）の活用

⑧NPO法人活動体験レポート集 発行準備

- ⑨のたろん WEB の管理、更新
- ⑩キッズコーナーでの情報発信
- ⑪SNS の運用 (FB、Twitter、YouTube、Instagram)

3. 相談支援

- ①受付での相談対応、NPO立ち上げなどの専門的な相談対応
- ②プロボノを活用したマネジメント相談会の開催

4. 交流・学習機会の提供、ノウハウを活かした活動促進

- ①夏のボランティア・市民活動体験 (7月～8月)
- ②生涯現役フォーラム、ひくてあまた月間 (10月～12月)
- ③企業・NPO・大学パートナーシップミーティング (秋)
- ④プロボノ (通年)
- ⑤いきいき市民塾 (年4回)
- ⑥のたろんカレッジ (団体活動支援講座) の開催 (通年)
 - ・助成金相談会 ・広報、会計などの講座
 - ・オンライン、IT支援 (zoom、SNS等)
- ⑦各種相談会の開催
 - ・「まちの保健室」(横須賀まちの保健室プロジェクト)
 - ・いまさら相談室 (産業クラスター研究会)
 - ・介護相談会 (神奈川県介護福祉士会横須賀三浦支部)
 - ・成年後見制度利用無料相談会 (一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター)
 - ・横須賀知恵袋よろず相談会 (横須賀知恵袋)
- ⑧団体交流会の実施 (年4回)
 - 「防災、減災」をテーマに団体交流会を行う。
- ⑨のたろんフェア (2月)
- ⑩ボランティア支援
 - さぼせんサポーターズ、横須賀ユースボランティアグループぽぴーぐみ、
 - 児童養護施設支援ボランティア、4Sクラブ
- ⑪パソコン講座開催
 - センター主催講座、フリープラン講座
- ⑫市民公益活動ポイント事務局

5. 連絡調整業務

- ①市関連イベントへのボランティア派遣及び運営支援
 - カレーフェスティバル、のりものフェスタ、ジャカランダフェスティバル、
 - 肢体不自由児者運動会、赤い羽根共同募金、わんぱくフェスティバル
- ②支え合い組織支援 (第一層会議体への出席)

- ③よこすか子育て応援ネットワーク事務局
- ④よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク事務局
- ⑤よこすか災害ボランティアネットワークとの連携
- ⑥行政、中間支援組織、大学などとの連携